# 補助対象例について①

Wi-Fi機器
（置くだけWi-Fi・ポケットWi-Fi）

メリット

〇ご自身で契約した通信量を使わずにインターネットに接続できる。

〇災害時等、電話回線がつながりにくい場合に、通信手段の一つとして、インターネット上で災害情報を調べることができる。

〇スマートフォンのみではなく、PCやプリンタ等の接続が可能となる。

デメリット

〇毎月のランニングコストや初期費用等は、市民防災組織の負担になる。

〇Wi-Fi環境を整備したからといって、必ずしも災害時に使えるとは限らない。

〇防災拠点の立地によっては、つながりにくい状態や動きが遅くなる可能性がある。

# 補助対象例について②

## 補助対象

○ 市民防災組織の活動拠点において使用する可搬式の非常用発電機又は蓄電池。

○ 非常用発電機又は蓄電池は、通信確保を用途とするもの。

○ 燃料（ガソリンやガスボンベ）、消耗品（乾電池単品や交換用のプラグ）、保管庫の整備代は補助対象外です。

**補助対象になるかについては、市が事前相談時に判断します。立川市役所防災課（５５番窓口）までお越しください。**

## 補助対象例

**発電機（可搬式）**

### LPガス式

| | |
|---|---|
| ﾒﾘｯﾄ | ○高効率、低燃費<br>○軽量、低騒音 |
| ﾃﾞﾒﾘｯﾄ | ○プロパンガスのコストがかかる |

### ガソリン式

| | |
|---|---|
| ﾒﾘｯﾄ | ○大出力 |
| ﾃﾞﾒﾘｯﾄ | ○危険物であるガソリンを保管する必要<br>○安全な保管場所の確保及び管理者が必要 |

### カセットボンベ式

| | |
|---|---|
| ﾒﾘｯﾄ | ○大出力<br>○ガソリンに比べ、カセットボンベは保管しやすい |
| ﾃﾞﾒﾘｯﾄ | ○カセットボンベの保管場所の確保が必要 |

# 補助対象例について③

補助対象例

蓄電池及びソーラーパネルも対象となります。

（可搬式）

蓄電池

ソーラーパネル

注意事項

購入費用の1/2の補助（1組織75,000円が限度）

※令和5年度～令和6年度に補助を受けられた組織につきましては、補助額が、合わせて上限75,000円に至っていない場合に限り、残額分の補助が受けられます。

【お問い合わせ先】
立川市危機管理対策室防災課　042-523-2111（内線2531）